

がんばろう！日本会 活動報告 (2011年-2012年)

発足：2011年4月9日

発足の理由：2011年3月11日の東日本大震災後、3月17日に日本語センター教員主催のチャリティーコンサートを皮切りに、保護者控え室でのバザーとバークセール(3/19)、ホッケー留学中の日本人高校生によるホッケー慈善試合(3/26)、センター保護者主催のチャリティーボーリングイベント(3/26)、センター中、高等部の生徒によるセンター隣のスーパーメトロで袋詰めの義援金集め(4/2)、あらし太鼓チャリティーコンサート(4/9)の広報、共催、後援、前売りチケット販売などの案内をセンター役員が担当。袋詰め作業のとりまとめをしていた保護者宇井が役員の仕事が増えてしまい、有志で会を作ったらどうかと提案。当時役員であった、福島県出身の橋爪が賛同、リーダーとなる。後日数名の保護者の有志現れ、最終的に教員一人を含む5名で活動。

チャリティーイベント(センター関係者及び非関係者主催)のチケット販売を含めた広報, 協力。

- ・2011年4月19日: collage Stanislas でのチャリティーイベント“Soiree culturelle Japonaise”
 - ・2011年5月7日: 日系文化会館バザー、ラッフル(80%義援金)
 - ・2011年5月7日: the Comomango Studio でのチャリティーサルサイイベント“Salsa for Japan”
 - ・2011年5月12日: St-Jean-sur-Richelieu での古本市
(日本関係古本と和風しおりの売りあげが義援金)
 - ・2011年5月22日: Ecole de musique Vibcebt d’Indy でのチャリティーコンサート
“Japan-Nation of Resience/Japon:Nationa de resilience/復興に心をこめて”
子供合唱団にセンターの子供たちも参加。
 - ・2011年5月29日: コンコルディア大学でのチャリティー短編アニメーション上映会
-
- ・2012年3月10、11日: モントリオールカルチャー&ランゲッジコネクション(語学学校)での
チャリティーガレージセール
 - ・2012年3月10日: Église unie St-Jeanでのチャリティーコンサート“祈り”
 - ・2012年3月10日、23日: ダウンタウンとプラトー地区でのチャリティーコンサート“ジパングへの祈禱者”

2011年7月：日本にメッセージをおくろうプロジェクト

被災地の子供たちへ日本語センターの幼児3(3歳児)クラスから児童そして、成人クラスで日本語を勉強している人の中から希望者にレターサイズの紙に手紙や絵などを被災地へ送った。クラス別の写真、モントリオールの紹介、センター長の挨拶も共にバインダーに綴じ、閲覧しやすくした。7月福島県の檜葉中学校(福島原発から20キロ内の強制避難区域内のため、町ごと避難)が間借りしている福島県会津の高田中学校校長へ手渡し。

福島県双葉郡檜葉町立檜葉中学校ホームページ

<http://blog.goo.ne.jp/narachu/e/a1f797fe2f44aea574de97df99eb971f>

内輪バークと食べ物なんでもセール

土曜日午前中の日本語センターの保護者控え室で開催

4月 \$60, 95

6月 \$375, 60 + \$10.25 = \$385,85

9月 \$282, 50

12月 \$169

2月 \$346 + \$14, 35 = \$ 360,35

子供たちが授業を受けている間に、できる人が出店し、買い物をし、楽しみ味わい、その売り上げが義援金となる。焼き菓子その他、和菓子、おにぎり、総菜、家庭菜園の収穫物、飲み物など種類も回毎に違い、好評。休み時間に子供たちや成人クラスの生徒が買い物にきて、日本語の会話の練習にもなった。

この他に、2012年3月10日の祈りチャリティーコンサートにて、会場にてのバークセールのとりまとめ。(663, 75ドル売り上げ、主催者へ)

2011年11月5日： モントリオール日本語センター主催の秋まつり

がんばろう会が専用ブースを一カ所確保。震災の展示、総菜販売、寄付の絵画販売、支援バッチとポストカード、和雑貨等の販売、震災直後に被災地入りしたLa Pressのカメラマンの記事展示と映像上映。(\$508, 84売り上げ)

2012年2月3日： 小学校での折り紙ワークショップと募金活動

Riviere-des-Prairies の公立小学校(East Hill School)の4年生のクラスで、鶴と兜のおりがみワークショップ、震災の話をし募金を受け取りました。

当会から3人と外部(日系文化会館の文化委員)の1人の計4人。

校長や担任との挨拶をふくめて12時半から2時半までの活動。

子供たちからの質問もおおく、日本、震災への興味関心が強いことを感じた。

合計で139. 00ドルの義援金を受け取り、そのまま日本領事館へ持ち込み。

支出

5月 ラップ2本 \$10, 23

9月 寄せ書き送料 \$10. 27

(バインダーに綴じた寄せ書きは日本に行く当会のメンバーの一人に持参してもらい、福島県内の橋爪の友人に郵送)

義援金よりおつり、経費を確保

バークセール時のおつりや、ほとんど無いがラップなどの活動に必要な経費をプールしている。

義援金の送付(3回)

義援金は送る直前に日本語センターの会計に渡し(それまでは当会の会計担当が管理)、日本語センターの名前で小切手をきってもらい、それをモントリオール日本領事館へ郵送または持ちこみ。後日領事館からメールにて、義援金預かり書を受け取る。

7月:\$908, 25

12月:\$2,012, 31

(保護者控え室でのバークセールの売上げの他、日本語センター秋まつりでのがんばろう! 日本会ブースの全収益とセンター主催のバザー、古本、バーク、子供のゲームコーナーでの利益を含む)

2月:\$139, 00(East Hill school の名前で)

合計 \$3,509, 65

一斉メール

お知らせ、報告、多少の震災関係のニュースをまとめたものを、定期的に日本語センター関係者に役員(保護者代表)を通じて一斉メールとして送信。

義援金送付先: モントリオール日本領事館経由の日本赤十字

合計3,509, 65ドルを3回にわたり、モントリオール日本領事館を通じて日本赤十字に寄付。

2012年3月末で、日本赤十字は東日本大震災の義援金受付終了の予定だったが、2012年9月末までに現在延長している。当会では、今後別の機関に寄付をする予定で、送り先を検討中。

1年間ご理解とご協力をありがとうございました。

震災から1年が経ちました。それでも特に先の見えない福島第一原発の事故の影響を始め、様々な課題が山積みで、支援の手の届かない人々があります。みなさんも遠く安全なモントリオールでの生活の中でも、どうか被災地のことを忘れずに、彼らとつながり各自の生活においても接点をもたれることを勝手ながら望みます。

今後は名前も変え、日本語センターから独立して、まだ必要な支援と啓蒙を含んだ活動をしていく予定です。

興味の有る方(震災情報、モントリオールでのイベントなどのメール受け取りを含む)は橋爪までお問い合わせください。今後ホームページも作っていく予定です。日本語センター内でのチャリティー活動(バークセール、ブックセール等)のみお手伝いをして下さる方も募集しています。保護者からの希望もあり、バークセールや、ブックセールの開催日を1年、または、学期毎にあらかじめ決め、お知らせする予定です。今後ともよろしくお祈りします。

(旧)がんばろう! 日本会